

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	設計気象データ小委員会		主 査 名：赤坂 裕 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (建築設備運営委員会)		委員長名：井上 勝夫 主 査 名：吉田 治典
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡張アメダス気象データへの新しい気象要素の追加と設計気象データの整備を行う。 ・ 初年度：1981～2000 年の 20 年拡張アメダス気象データの整備と出版。気象観測の検討 ・ 2006 年度以降：設計気象データの整理，気象観測データの収集と整理，紫外放射量(UV-A,UV-B)の推定法の検討，光合成有効放射量(PAR)の推定法の検討，2001 年以降の拡張アメダス気象データの整理 ・ 2008 年度：2001～2005 年拡張アメダス気象データの公開 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 主査：赤坂裕(鹿児島大)，幹事：二宮秀與(大阪市立大)，荒井良延(鹿島建設)，井川憲男(大阪市立大)，石野久彌(首都大学東京)，永村一雄(大阪市立大)，永村悦子(園田学園女子大学短期大学部)，郡公子(宇都宮大)，曾我和弘(鹿児島大)，松本真一(秋田県立大)，西岡真稔(大阪市立大)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2007 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.ktlo.co.jp/AMeDAS/	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 委員会の長期課題である気象観測データの収集は、4 大学における観測システムの構築が完了し、データの収集と分析を行っている。 2. 本年度は 1 分値データの開発を主課題として活動をおこなった。
委員会活動の問題点・課題	

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2007 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学研究費補助金(2005～2006年度)により実施した、4大学での気象観測を継続し、日射、紫外線、照度を含む気象データを1分間隔で収集している。これにより年間を通した1分値データを収集・整理した。 ・ 得られたデータを元に紫外放射量(UV-A,UV-B)および波長別日射量の推定法を検討し学会大会で報告した。 ・ また1分値気象データの整理方法について検討し、気象庁の1分値気象データを建物熱環境シミュレーションの入力データと利用する際の課題と、対処方法を整理した。 			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。